



МАЙДАН

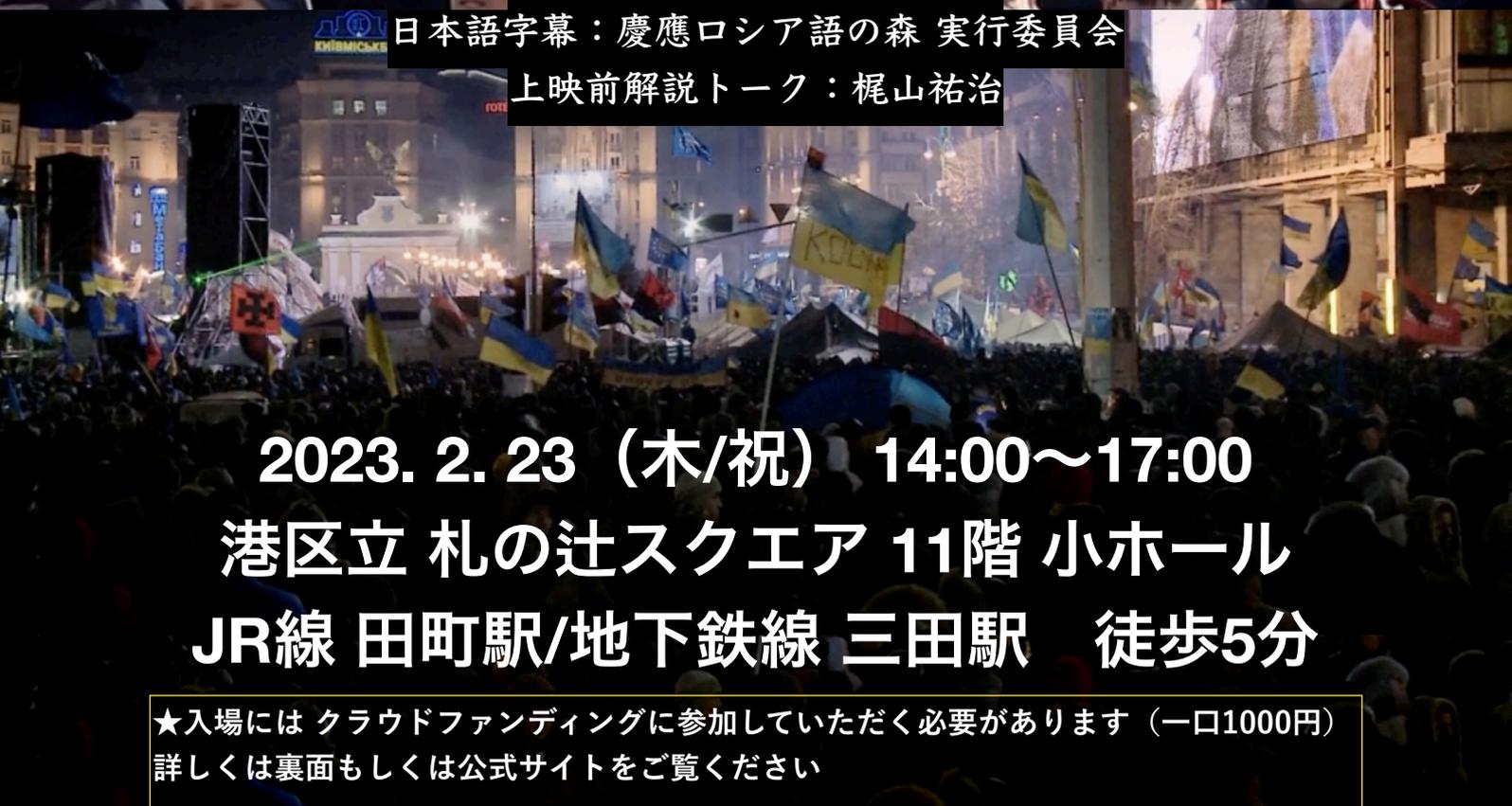
マイダン



監督：セルゲイ・ロズニツァ

日本語字幕：慶應ロシア語の森 実行委員会

上映前解説トーク：梶山祐治



2023. 2. 23 (木/祝) 14:00~17:00

港区立 札の辻スクエア 11階 小ホール

JR線 田町駅/地下鉄線 三田駅 徒歩5分

★入場にはクラウドファンディングに参加していただく必要があります (一口1000円)
詳しくは裏面もしくは公式サイトをご覧ください

申し込み方法

右記QRコードもしくは下記URLから、クラウドファンディング（一口1000円）にお申し込みください。代金は、上映権料、施設使用料にあてられます。

<https://keiorussian.hp.peraichi.com/rusскиyilies>

入金時の自動返信メールをご来場時にご提示いただきます。



時程

13:30 開場

14:00-14:30 上映前解説 「ウクライナ映画における『マイダン』」

…筑波大学 梶山祐治 先生（専門:旧ソ連諸国の文学・映画）

14:45-17:00 映画『マイダン』上映（2時間11分）

上映後は来場者と学生間でのディスカッションを検討しています。

慶應ロシア語の森について

私たちは、慶應義塾大学の三田祭や、全学部のロシア語選択者の成果発表と交流を兼ねたイベント、ロシア語フェスタで、ロシア文化の紹介などの活動を行ってきました。2022年度の三田祭では、セルゲイ・ロズニツァの作品を公開しました（写真）。その内ドキュメンタリー作品の『マイダン』は日本未公開作品でしたが、映画製作会社“ATOMS&VOID”様のご厚意により、上映権を特別に購入させてもらい、学生たちで翻訳した上で日本語字幕を付けて公開いたしました。幸いにも、来場した多くの方々から高い評価をいただきました。



マイダン運動

2013年から14年にかけての冬、ウクライナのキーウ/キエフで起きた、ヤヌコーヴィチ大統領政権に対する反対運動。発端は当時のヤヌコーヴィチ大統領がEUとの連合協定締結の署名を撤回し、野党や市民の間で、それに抗議する運動が始まったことだった。当初平和的なデモだったが、政府が武力で運動を鎮圧させようとする、デモはより過激化した。政府と野党は事態の沈静化を模索したが、一部の過激化した勢力は武装闘争を展開し、ヤヌコーヴィチはロシアに逃亡した。その後、ウクライナのクリミア自治共和国で、ウクライナからロシアへの帰属変更を求める運動が拡大し、2014年3月、ロシアはウクライナ政府の合意なしにクリミアを併合した。さらにウクライナ東部において、ロシアの後ろ盾を得て、ドネツク州とルハンシク州の一部が「ドネツク人民共和国」と「ルガンスク人民共和国」の樹立を宣言した。

映画『マイダン』にはナレーションなきカメラ回しのもと、印象的なウクライナ国家斉唱の場面とともに、マイダン運動の平和的なデモから暴力運動に至るまで人々の様子が繊細に映し出されている。

https://www.ide.go.jp/Japanese/IDEsquare/Eyes/2022/ISQ202220_004.html#r3などを参照した。

セルゲイ・ロズニツァ監督について

1964年ベラルーシのバラノービチ生まれ、ウクライナの首都キーウ（キエフ）で育つ。ウクライナ国立工科大学を卒業し数学士の資格を取得後、日本語技術通訳兼科学者として人工知能の研究。1991年にモスクワの全ロシア映画大学に入学する。1996年よりサンクトペテルブルク・ドキュメンタリー映画スタジオで映画製作を始め、これまで24作のドキュメンタリーと4作の長編劇映画を発表してきた。カンヌ国際映画祭やアムステルダム国際ドキュメンタリー映画祭で数々の賞を受賞。

*監督公式ホームページを参照した。



ご不明点は 右記の公式SNS(@keiorussian2022)

もしくは keiorussian2022@gmail.com

までお気軽にお問い合わせください。



Webサイト



twitter



Facebook